2024年5月7日

吸収分割に係る事前開示書面

（会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条に定める書面）

大阪市中央区平野町四丁目1番2号
大阪瓦斯株式会社
代表取締役社長　藤原正隆

当社は、当社の子会社である株式会社オージーキャピタル（以下「オージーキャピタル」といいます。）を吸収分割会社、当社を吸収分割承継会社として、オージーキャピタルとの間で締結した2024年4月1日付吸収分割契約書に基づき、2024年7月1日を効力発生日として、オージーキャピタルが不動産事業に関して有する権利義務等を当社に承継させる吸収分割（以下「本件吸収分割」といいます。）を行います。

本件吸収分割に関して会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条により開示すべき事項は、下記のとおりです。

記

1. 吸収分割契約の内容（会社法第794条第1項）

別紙1のとおりです。

2. 本件吸収分割の対価の相当性に関する事項（会社法施行規則第192条第1号）

完全親子会社間の吸収分割であるため、本件吸収分割に際し、吸収分割承継会社は吸収分割会社に対して対価の交付は行いません。

3. 吸収分割会社に関する事項（会社法施行規則第192条第4号）

(1) 吸収分割会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

オージーキャピタルの最終事業年度に係る計算書類等は、別紙2のとおりです。

(2) 吸収分割会社の最終事業年度の末日後の重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

該当事項はありません。

4. 吸収分割承継会社に関する事項（会社法施行規則第192条第6号）

(1) 吸収分割承継会社の最終事業年度の末日後の重要な財産の処分、重大な債務の負担そ

の他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

該当事項はありません。

5. 効力発生日以後における吸収分割承継会社の債務（吸収分割について異議を述べることができる債権者に対して負担する債務に限る。）の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 192 条第 7 号）

当社の 2023 年 3 月 31 日現在の貸借対照表における資産および負債の額は、それぞれ 1 兆 9,136 億円および 1 兆 1,225 億円です。

本件吸収分割により当社がオージーキャピタルから承継する予定の資産および負債の額は、2023 年 12 月 31 日現在でそれぞれ 95 億円及び 36 億円です。

また、当社の 2023 年 3 月 31 日から現在に至るまでの資産および負債の額に生じた変動ならびに今後本件吸収分割の効力発生日までに予測される当社の資産および負債の額の変動を考慮しても、本件吸収分割の効力発生日以後における当社の資産の額は負債の額を十分に上回る見込みです。

以上の点ならびに当社の収益状況およびキャッシュフロー等に鑑みて、本件吸収分割の効力発生日以後における当社の債務について、履行の見込みがあるものと判断しております。

以　上

別紙1

吸 収 分 割 契 約 書

大阪瓦斯株式会社

株式会社オージーキャピタル



吸収分割契約書

株式会社オージーキャピタル（以下「甲」という。）および大阪瓦斯株式会社（以下「乙」という。）は、第１条に定める事業に関して甲が有する権利義務等を乙に承継させる吸収分割（以下「本件吸収分割」という。）について、以下のとおり吸収分割契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第１条（吸収分割）

甲は、本契約の定めに従い、吸収分割の方法により、甲の不動産事業（以下「本件事業」という。）に関して有する第４条第１項記載の権利義務等を乙に承継させ、乙はこれを承継する。

第２条（商号および住所）

本件吸収分割における吸収分割会社および吸収分割承継会社の商号および住所は、以下のとおりである。

＜吸収分割会社（甲）＞

商号：株式会社オージーキャピタル

住所：大阪市中央区平野町四丁目1番2号

＜吸収分割承継会社（乙）＞

商号：大阪瓦斯株式会社

住所：大阪市中央区平野町四丁目1番2号

第３条（効力発生日）

本件吸収分割の効力発生日（以下「本件効力発生日」という。）は、2024年７月１日とする。ただし、本件吸収分割手続の進行上の必要性その他の事由により必要があるときは、甲乙協議のうえ、これを変更することができる。

第４条（承継する権利義務等）

１　本件吸収分割により、本件効力発生日において、甲から分割され乙に承継される資産、債務、契約上の地位その他の権利義務等（以下「承継対象権利義務」という。）は、別紙「承継対象権利義務明細表」のとおりとする。

２　前項に基づく甲から乙に対する債務の承継は、免責的債務引受の方法による。

第５条（本件吸収分割の対価）

乙は、本件吸収分割に際して、甲に株式、現金等の対価の交付を行わないものとする。

第６条（乙の資本金及び準備金の額）

本件吸収分割により乙の資本金及び準備金の額は増加しない。

第７条（株主総会）

1　甲は、会社法第 784 条第 1 項に基づき、本契約について同法第 783 条第 1 項に定める株主総会の決議による承認を受けずに本件吸収分割を行う。

2　乙は、会社法第 796 条第 2 項に基づき、本契約について同法第 795 条第 1 項に定める株主総会の決議による承認を受けずに本件吸収分割を行う。

第８条（競業避止義務）

甲は、本件効力発生日以降であっても、本件事業に関し競業避止義務を負わない。

第９条（本契約の変更および解除）

本契約締結の日から本件効力発生日までの間において、法令に基づき本件吸収分割に必要とされる関係官庁等の許認可等が得られない場合、天災地変その他の事由により、本件事業または本件事業に関する資産、債務、その他の権利義務等に重大な変動が生じた場合、または本件吸収分割の実行に重大な支障となる事態もしくは本件吸収分割の実行を著しく困難にする事態が生じた場合等は、甲および乙は協議のうえ、本件吸収分割の条件を変更し、または本契約を解除することができる。

第１０条（費用・公租公課）

承継対象権利義務のうち、その移転又は対抗要件具備のために必要な登記、登録、通知、承諾その他の手続に要する登記費用その他一切の各当事者において発生する費用は、甲及び乙が別段の合意する場合を除き、各自の負担とする。

第１１条（協議事項）

本契約に定めのない事項または本件吸収分割に関して協議すべき事項が生じたときは、甲および乙は、本契約の趣旨に従って誠意をもって協議のうえ、これを決定する。

本契約締結の証として本書 2 通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自 1 通を保有する。

2024 年 4 月 1 日

甲　大阪市中央区平野町四丁目 1 番 2 号
株式会社オージーキャピタル
代表取締役社長　亀井　暁郎

乙　大阪市中央区平野町四丁目 1 番 2 号
大阪瓦斯株式会社
代表取締役社長　藤原　正隆

【別紙】

承継対象権利義務明細表

承継対象権利義務は、本件効力発生日において本件事業に属する下記のものとする。なお、1.資産および2.負債については、2023年12月31日現在の貸借対照表を基礎とし、同日以降に通常の業務の範囲内で行われる本件事業に係る業務の執行および財産の管理により生じた変更を反映したものとする。

記

1．資産

（1）固定資産

土地（岩崎南地区用地、尼崎用地、富田林用地）および建物（DCガスビル）、ならびにこれらに属する建物附属設備・構築物・工具器具備品

（2）流動資産

上記（1）固定資産に係る売掛金および貯蔵品

2．負債

（1）固定負債

上記（1）固定資産に係る預り敷金

（2）流動負債

上記（1）固定資産に係る買掛金および前受金

3．契約上の地位および権利義務等

（1）契約（ただし、雇用契約を除く。）

・本件事業に属する賃貸借契約、業務委託契約、その他の本件事業に属する一切の契約上の地位およびこれに付随する権利義務（上記1.および2.により乙に承継されることとなる資産または負債に係る契約におけるものに限る。）

（2）その他の権利義務等

・上記（1）固定資産に係る知的財産権およびノウハウならびにこれらの使用権および実施権

4．その他

承継対象権利義務のうち、本契約締結後に法令その他の規制上承継が困難であることが判明したもの（承継することにより甲または乙において想定外の損失を生じることが判明したものを含む。）については、必要に応じて甲乙協議のうえ、承継対象権利義務から除外することができる。

以　上





別紙2

第　13　期

計　算　書　類

（2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで）

株式会社 オージーキャピタル

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
Ⅰ 流動資産	2,554,419,398	Ⅰ 流動負債	701,455,699
現金及び預金	113,440	買掛金	51,991,104
売掛金	19,222,066	未払金	100,174,752
貯蔵品	20,903	未払費用	201,480,000
前払費用	32,177	未払法人税等	170,265,900
短期貸付金	2,535,030,812	その他流動負債	177,543,943
Ⅱ 固定資産	21,436,677,901	Ⅱ 固定負債	6,554,797,131
有形固定資産	9,607,159,357	長期未払費用	1,495,127,000
建物	2,345,587,039	繰延税金負債	1,577,922,531
構築物	11,358,388	その他固定負債	3,481,747,600
工具器具備品	7,653,423	負債合計	7,256,252,830
土地	7,242,560,507	純資産の部	
無形固定資産	963,900	Ⅰ 株主資本	12,966,961,134
電話加入権	930,400	1. 資本金	430,000,000
ソフトウェア	33,500	2. 資本剰余金	10,815,372,537
投資その他の資産	11,828,554,644	資本準備金	350,855,174
投資有価証券	9,237,675,586	その他資本剰余金	10,464,517,363
関係会社株式	887,945,058	3. 利益剰余金	1,721,588,597
長期前払費用	6,327,000	その他利益剰余金	1,721,588,597
金銭信託	1,696,607,000	繰越利益剰余金	1,721,588,597
		Ⅱ 評価・換算差額等	3,767,883,335
		その他有価証券評価差額金	3,767,883,335
		純資産合計	16,734,844,469
資産合計	23,991,097,299	負債・純資産合計	23,991,097,299

損　益　計　算　書

（2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで）

（単位：円）

科　　目		金　　額
売　　上　　高		1,636,587,959
売　　上　　原　　価		524,754,303
売　上　総　利　益		1,111,833,656
販売費及び一般管理費		370,454,573
営　業　利　益		741,379,083
営　業　外　収　益		465,272,557
受　取　利　息	1,015,468	
受　取　配　当　金	461,525,377	
雑　　収　　入	2,731,712	
経　常　利　益		1,206,651,640
税引前当期純利益		1,206,651,640
法人税、住民税及び事業税	298,947,040	
法　人　税　等　調　整　額	△ 665,084	298,281,956
当　期　純　利　益		908,369,684

株主資本等変動計算書

〔 2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで 〕

(単位:円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
当期首残高	430,000,000	350,855,174	4,407,849,909	4,758,705,083	1,237,430,913	6,426,135,996
当期変動額						
剰余金の配当					△ 424,212,000	△ 424,212,000
当期純利益					908,369,684	908,369,684
会社分割による増加			6,056,667,454	6,056,667,454		6,056,667,454
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	0	0	6,056,667,454	6,056,667,454	484,157,684	6,540,825,138
当期末残高	430,000,000	350,855,174	10,464,517,363	10,815,372,537	1,721,588,597	12,966,961,134

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	4,011,453,236	10,437,589,232
当期変動額		
剰余金の配当		△ 424,212,000
当期純利益		908,369,684
会社分割による増加		6,056,667,454
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 243,569,901	△ 243,569,901
当期変動額合計	△ 243,569,901	6,297,255,237
当期末残高	3,767,883,335	16,734,844,469

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
   (1) 資産の評価基準及び評価方法
      ①有価証券の評価基準及び評価方法
         子会社及び関連会社株式・・・・ 移動平均法による原価法
         その他有価証券
            時価のあるもの・・・・・・・・・・事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法
                                    (評価差額は、全部純資産直入法により処理し、
                                     売却原価は、移動平均法により算定)
            時価のないもの・・・・・・・・・ 移動平均法による原価法
      ②たな卸資産の評価基準及び評価方法
            貯 蔵 品・・・・・・・・・・・・・・・個別法による原価法
   (2) 固定資産の減価償却の方法
         有形固定資産・・・・・・・・・・・・・定率法
                                    ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備
                                    を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備
                                    及び構築物については、定額法
         無形固定資産・・・・・・・・・・・・定額法

2. 会計方針の変更に関する注記
   従来、消費税の会計処理は、税込方式によっておりましたが、当社は当事業年度から課税事業者に該当することになったため、税抜方式に変更しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記
   (1) 発行済株式の種類及び総数
         普通株式　　2,001株
   (2) 剰余金の配当に関する事項
      ①金銭による配当
      2022年6月29日の定時株主総会において、2022年3月31日を基準日として、
      次のとおり決議しております。
         (イ)配当財産の種類　　金銭
         (ロ)株主に対する配当財産の割当に関する事項およびその総額
            ・当社普通株式1株につき　212,000円
            ・総額　424,212,000円
         (ハ)効力発生日　　2022年6月30日

4. その他の注記
   (1) グループ通算制度の適用
      当社は、翌事業年度から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行することとなりました。
      なお、当事業年度の期末から法人税及び地方法人税に係る税効果会計に関する会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8□12□)を適用しております。
   (2) 共通支配下の取引等
      当社は、2022年7月1日に株式会社オージースポーツの不動産賃貸事業を会社分割の方法によって承継しました。
      ①取引の概要
      ア 対象となった事業の名称及び当該事業の内容
         不動産賃貸事業
      イ 企業結合日
         2022年7月1日
      ウ 企業結合の法的形式
         当社を承継会社とし、株式会社オージースポーツを分割会社とする吸収分割
      エ 結合後の企業の名称
         株式会社オージーキャピタル
      オ 取引の目的
         Daigasグループの効率的な事業運営のため
      ②実施した会計処理の概要
      「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号　2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針第10号　2019年1月16日)に基づき共通支配下の取引として会計処理しております。

別紙2

第 13 期 事 業 年 度

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

事 業 報 告

株式会社オージーキャピタル

事業報告

（2022年4月1日から 2023年3月31日まで）

Ⅰ．企業の現況に関する事項

当期における事業の経過および成果は次のとおりであります。

1．事業の経過および成果

当社は、2011年3月31日において、株式会社オージーキャピタル（当社と同一商号：2011年3月31日に株式会社オージースポーツとの合併により解散）から会社分割により、シルバービジネスに関する不動産事業と Daigas グループ株式、その他上場株式等の投資事業に関する資産及び負債を承継することにより、新たに設立されました。

当期（第13期事業年度）は実質的に12年目となります。

2017年7月に、それまで当社が担っていたシルバービジネスを行う子会社である株式会社アクティブライフ向けの不動産事業について、シルバービジネスに係る経営資源の一元化を目的として、会社分割により㈱アクティブライフへと承継しました。これにより、2017年7月以降、当社の不動産事業はなくなり、売上高は0円となりました。

また当期 7 月に、株式会社オージースポーツが担ってきた不動産賃貸事業について、Daigas グループの効率的な事業運営を目的として、会社分割より当社が承継いたしました。これにより、当期の売上高は 1,637 百万円、経常利益は 1,207 百万円、当期純利益は 908 百万円となりました。

当社の財産および損益の状況

区分	2019年度 ＜第10期＞	2020年度 ＜第11期＞	2021年度 ＜第12期＞	2022年度 ＜第13期＞
売上高（円）	0	0	0	1,636,587,959
経常利益（円）	422,893,978	413,060,978	391,713,978	1,206,651,640
当期純利益（円）	370,526,888	451,655,863	835,535,639	908,369,684
1株当たり当期純利益（円）	185,170	225,715	417,559	453,958
総資産（円）	11,184,100,838	14,548,689,785	14,165,924,137	23,991,097,299
純資産（円）	7,815,630,580	10,450,188,498	10,437,589,232	16,734,844,469

2．対処すべき課題

前述のとおり、不動産賃貸事業を会社分割により承継したことにより、当社は不動産賃貸事業とグループ株式を中心とした株式を保有・管理する会社となりました。役員及び従業員の多くは大阪ガス㈱新規事業開発部との兼務者で構成されており、Daigas グループの経営管理体制の中で、新規事業開発部と密接な関係をもって、グループ内において堅実な子会社管理、資産管理を行っていくことが必要となります。

3．設備投資の状況

当期は設備投資を行っておりません。

4．資金調達の状況

当期は資金調達を行っておりません。

Ⅱ．会社の概況（2023年3月31日現在）

1．主要な事業

不動産賃貸業

グループ会社株式等の管理

2．株式に関する事項（2023年3月31日現在）

（1）発行株式数と株主数

項　　目	内　　容
会社が発行する株式の総数	8,000株
発行済株式の総数	2,001株
当期末株主数	1名

（2）大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	持株比率(%)
大阪ガス株式会社	2,001	100

3．企業結合の状況

（1）親会社との関係

当社の親会社は大阪ガス株式会社であり、当社の議決権の100%を保有しております。

（2）重要な子会社の状況

会社名	資本金（円）	持株比率（%）	主要な事業内容
㈱アクティブライフ	100,000,000	100.00	有料老人ホームの運営及び、介護サービス事業
大阪ガスオートサービス㈱	100,000,000	100.00	自動車のリース事業、整備事業、安心運転教育事業
大阪ガスビジネスクリエイト㈱	100,000,000	100.00	人事サービス事業、経理サービス事業、オフィスサービス事業、施設管理事業、駐車場の経営及び管理、情報通信事業、セールスプロモーションイベントの企画・運営

4．主要な借入先

期末の借入金はございません。

5．主要な事業所

本社〔大阪府〕

６．従業員の状況

従業員数	５名

Ⅲ．役員に関する事項

１．取締役および監査役の氏名等

地位	氏名	担当	他の法人等の代表状況等 または重要な兼職の状況
代表取締役社長	佐　藤　克　峰		大阪ガス㈱新規事業開発部長
取締役会長	松　坂　英　孝		大阪ガス㈱顧問
取締役	亀　井　暁　郎	業務管理本部長	大阪ガス㈱新規事業開発部 マネジャー
監査役（非常勤）	京　　雅　也		大阪ガスビジネスクリエイト㈱監査役 ㈱ＫＲＩ監査役

以　上

別紙

別紙2

監査報告書

2022年4月1日から2023年3月31日までの第13期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1．監査の方法及びその内容

私は、監査役監査の基準に準拠し、監査方針、監査計画等に従い、取締役及び使用人等と意思疎通を図りながら、以下の方法で監査を実施いたしました。

（1） 取締役会に出席するほか、随時、取締役及び使用人等からその職務の執行状況を聴取し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

（2） さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度の係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2．監査の結果

（1） 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2） 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年5月11日

株式会社 オージーキャピタル

監査役 京、雅也

これは原本と相違ありません

大阪市中央区平野町四丁目1番2号

大阪瓦斯株式会社

代表取締役社長　藤原正隆